

# 磐梯山噴火と裏磐梯

## 裏磐梯とはいつから呼ばれたか

会津古城研究会

場所 福島県耶麻郡北塩原村にある磐梯山北側の地域

### ●裏磐梯とはいつから呼ばれるようになったか

大正 9 年（1920）の植林事業の時から呼ばれるようになります。

### ●裏磐梯の標高はいくつあるか

中心に桧原湖があり、標高は 822 メートルです。

裏磐梯高原は、ほぼ箱根峠(846 メートル)と同じなのです。

### ●湖沼の数はいくつあるのか

五色沼を含めて約 300 あります。

### ●五色沼とはなぜ呼ばれたか

五色沼は、地下水の鉱物によって沼の色が異なり、様々に色・五色に見えることから付けられたものです。一般的には、東側の入口から毘沙門沼、赤沼、みどろ沼、弁天沼、竜沼、瑠璃沼、青沼、柳沼をさしています。沼の色は、磐梯山の爆裂火口に最も近い銅沼(あかぬま)にみられる強酸性の水系がもたらす鉱物の影響により、陳でしたものや水質によって色が異なるように見えるものです。沼によっては、酸性の低い水系もあり、繁殖した植物の繁茂した影響によって水の色が異なるようにみえるものです。

遊歩道は、片道約 3.6 キロメートル。約 1 時間のコースが整備されています。

### ●磐梯山の高さは

標高 1818.6 メートルの活火山です。くぼんだ部分が噴火で崩壊しました。

北側の吾妻山の高さは 2,035 メートルです。

### ●国立公園の指定

昭和 25 年 9 月 5 日

### ●北塩原村の面積

233.94 平 m<sup>2</sup>。東京 23 区の約 1/3 の面積。東京都杉並区の約 7 倍あります。

### ●北塩原村の人口は

3,360 人（22 年 3 月現在）東京 23 区の約 1/2602。

### ●磐梯山の噴火と、裏磐梯の開発

明治 21 年（1888）7 月 15 日

明治 21 年（1888）7 月 8 日頃から地震発



生。

12 日上の湯から水蒸気発生、山崩れが発生します。

7 月 15 日大噴火となります。

午前 7 時頃から軽微な地震。

7 時 30 分頃から地震活発化し連続します。

午前 7 時 45 分頃大噴火、約 1500m まで噴煙、約 20 回爆発。

午後 4 時頃終息します。

住民 477 人が犠牲となり、396 人行方不明、遺体は 81 人発見されています。

## 温泉の開湯

明治 29 年（1900）噴火湯 白井徳次開湯 昭和 29 年山崩れで崩壊。別荘建設  
明治 40 年頃 遠藤十次郎、二階建ての別荘を建てます。昭和 11 年には、与謝野晶子が宿泊しています。

遠藤十次郎、長野県の林学博士、中村弥六から植林の指導を学び、恩義として、裏磐梯高原ホテル南の沼を「弥六沼」と名付ける。

裏磐梯とは大正 9 年の植林事業から呼ばれます。

森林組合の設立は昭和 5 年（1930）、遠藤十次郎・宮森太左衛門「磐梯施業森林組合」を設立。道路と植林に力を入れる。約 723 h a。現在は、県へ移管されています。

## ●裏磐梯の伝説

伝説 1、桧原湖北側では、伊達氏の進攻を防いだ「守りきつね」。

伝説 2、桧原湖南側では穴沢氏が退治した魔物の猫（猫魔）「黒猫」。

文責 石田明夫

